



代表  
はまうら佳子  
〒582-0026  
柏原市旭ヶ丘2丁目4番25号  
電話 072-977-5502

創刊特別号 ¥0

# かしわら見張り番

## 応援します！お母さん・働く女性



挨拶力。さる世論調査会社が実施したアンケートで、行動力、発想力などをおさえて「新入社員に求める力」のトップになったのがこれです。

もっとも、挨拶力が求められるのは、何も新入社員にだけではありません。

挨拶は誰にとっても礼儀の基本であり、人間関係の潤滑油でもあります。しかし、挨拶とは、遙かにそれ以上のものと分かるエピソードがあります。

芥川賞作家にして禅僧の玄侑宗久師が、禅寺に入門したての修行僧の頃に先輩僧から聞いたという話です。

昔、その禅寺の管長が毎朝出会う一人の老人がありました。管長は出会うたびに「お早うございます」と挨拶

## 新入社員に最も求められる力「挨拶力」

するのですが、老人は奇怪にも一度として挨拶を返さず、無言で行き違うばかりでした。それでも管長は飽くことなく、毎日出会うたびに挨拶を続けたのです。



それが三年過ぎたある朝のこと。いつものように管長が挨拶すると、その老人はふいに管長に近づき、突然目の前で号泣し始めたのです。

号泣の背後には余程の訳があるに違いありません。しかしそれより印象深いのは、「挨拶力のすこさ」であり、「返答もないのに三年間毎日挨拶を続ける精神力のすこさ」です。

この話を聞けば、挨拶は単なる礼儀ではなく、修行と言ふべきものに思えます。

その修行の場は、会社だけではありません。家庭においても、夫婦同士、親子同士でいつも挨拶。相手の反応がどうであれ、「三年間」続ければ、あなたの挨拶力も相当なものになるに違いありません。

といった、一方的なやり方で政治混乱を招いたことは感心できない。会社経営経験者の岡本市長は、株式会社柏原市の社長のつもりなのだろうか。ワンマン社長なら「おまえら働き悪いから給料カットや」と言うことはできるかもしれない。しかし柏原市は民間の会社ではない。まして、議員は市民から選ばれたのであって、市長に選ばれたわけではない。

しかし、特別職のボーナス一〇％削減という話は三月の定例会の後に話してきただけであり、毎月の給料五万円減額も、山西前市長から継続されてきていることで、ご本人が新たに決定したことはないのだ。市政改革は大いに推進すべきだが、今回の一方的なやり方を見ると、二期目の岡本市政に奢りがないか市民は注視する必要がある。



議会が流会したことを速報する「広報かしわら」4月号の紙面

柏原市議会の三月定例会は、審議をめぐって紛糾して流会、〇九年度当初予算案など二四の議案が廃案になった。紛糾した原因は、議員の定数や政務調査費を減らす条例案を提案した岡本泰明市長に対して議会が反対したことによる。

岡本市長は「財政事情は厳しく、議会も聖域ではない」として、既に定数一八と決めている次期市議選の定数を一六に減らす、政務調査費を月額七万円から二万円にする、ボーナスの特別加算廃止と一・五カ月分の減額一〇の三議案を議会に提示した。

二月に再選を果たしたばかりの岡本市長は、これらの議案をまるで「通告」のように突然提示。議会側は「議員自らが決めるべき内容」として、議会の総意として今回は提案しないよう求めた。

議会のことは議員が決める。それが議会制民主主義だ。岡本市長は、大阪府の橋下知事を真似たのかもしれないが、これも勘違い。なぜなら、橋下知事はまず自分の給料を三〇％カットしている。ところが、岡本市長は、自分の身は切らず一方的に議会改革案を提案したのだから、反発を受けるのは当然だ。

昨年、市発注の水道工事をめぐる不正入札談合事件で著しくイメージをダウンさせた柏原市。岡本市政は二期目がスタートしたが、早々に議会と衝突し混乱。市民は市政に不安を感じている。

## 3月定例議会

### 2期目の岡本市政に不安

# 議会側と衝突し流会

## 2期目の奢りないか

招集して廃案になった議案と共に再提案した。しかし、専決処分については承認されたものの、議員定数十六への削減案は否決され、期末手当や政務調査費の減額案については引き下げ幅を抑えた議員提案の修正案が可決された。

## みなさんの声募集中です。



「かしわら見張り番」は、みなさんと共に、柏原を希望あるまちにしていきたいと思っています。どうぞ、みなさんのご意見やご要望、また夢などをお寄せください。

Info@change-kashiwara.com  
〒582-0026 柏原市旭ヶ丘2丁目4番25号 電話 072-977-5502

## Dessert Cafe Sacha

お客様の和みのお時間に、美味しいひと時・お祝いに参加できるお菓子を提供できたらと願っております。お近くにお越しの際は、ぜひお立ち寄りください。



〒582-0026 柏原市西分町2-7-30 tel/fax 072-977-1515 定休日/火曜日